

# トップエッセイ

## 大好きな「人」へ

宮古港運株式会社

代表取締役社長 砂川恵映



宮古島は人口が約五万五千人の小さな島だ。かつて、芸術は爆発だ！でお馴染みの岡本太郎が、著書「忘れられた日本（沖縄文化論）」の取材のため、沖縄各地を二週間かけて訪問した時でさえ、沖縄本島から石垣島へ向かう途中の、わずか数時間しか立ち寄らなかつた。たつたの数時間

だ。忘れられた日本ではなく、忘れられた宮古島ではないのか？と言いたくなるくらい、知名度の低い島だつた。

そんな宮古島だが、ネオングリ・西里（島民はイーザトと呼ぶ）となると、約五、六十年前は、鮮やかな料亭の看板が立ち並び、お金持ちの船乗りや、島内で商いをしている

人々が集い飲み歩く、とても賑やかな場所だつたそつだ。私のイーザトでの思い出は「ちょうど十九の春でした」と。会社の先輩に連れられて行つたクラブで綺麗な真っ赤なドレスの女性に一目惚れ、赤なドレスの女性に一目惚れ、高価な場所でしたので（毎晩行けるわけもなく）、先輩に次はいつ連れて行つてもらえて行つた。

私は、周りから「女性好き」と思われているのかもしれないが、それもひとえに「人が好き」が講じてのこと

だ。

人はそれぞれ育ってきた環境、人生も違う、個性や考え方・価値観も様々で、まさに「十人十色」であり、「百人百色」だ。例えば、若手の社員と話していると気づかなかつたことや、常識と思っていたことが実は非常識だつたり、実は色眼鏡で見ていたのだなど、眞実が見えてくることもある。勉強にもなるし、たまには反省もする。だから、面白いのだ。

いい人間もいれば、悪い人間もある。私が心がけていること。私は、初めて会う人に對して必ず「好意」を持つて会話をする。話していく中で、どうしても合う部分や合わない部分が出てくるものだ。しかし、この合う合わないだから私は、人間関係を「嫌い」で片付けるのではなく、根本は「好き」から入つてい

く。老若男女問わらず、人類みんなが「好き」なのだ。だから、その一部を切り取つて「女好き」というイメージを付けられていることは、抗議したい気持ちはあるが、証拠を突きつけられたらまたまらないので、そのままにしておく。

ただく時間がより長くなる。また下地島空港では、LCCの新規参入や「宇宙に行ける島・下地島」をコンセプトに、下地島宇宙港事業の壮大な計画などもあり、海と空の玄関口も、共に今後の島の観光業はどうなっていくのか楽しみでならない。

このような中で、大型リゾートホテルの他にも、観光関連施設整備、インフラ整備は着実に進展しており、観光客に満足していただけるようなくなっていく事を実感している。我々の仕事もその変化の中で社会的使命が大きくなっている。宮古島に入つてくる貨物の約九千五百㌧は船からの貨物で、ある「夢とくらしと文化をはこぶ」をモットーに島の経済化を迎えており、今年の六月にはクルーズ船専用バースが完成し、宮古島に滞在している

見たら、岡本太郎も数時間とは言はず、一週間くらい滞在して取材をするのではないだろうか。最後に、人は、一人では生きていけない。どんなに偉い人だって同じだ。家族、友人、社員、得意先、すべての出会いえた皆様とのご縁に感謝をし、これから出会う多くの方々に「好き」から始まる興味を持ち、残りの人生を楽しんでいきたい。今後の夢としては、日本全国、北は北海道から南は沖縄までたくさん地域を回る出会いの旅をしたいと思つてゐる。この「人好き」にまつわる話は、まだまだ話しきりない思つてゐる。

この「人好き」にまつわる話は、まだまだ話しきりないのですが、紙面には限りがある。統一是イーザトでお付き合いいたします。人好きの同志の皆様からの、ご連絡をお待ちしております。

## 株沖縄急送創立45周年記念

2020年11月1日をもちまして、創立45周年を迎える運びになりました。これもひとえに皆様方のご支援の賜物と心より感謝申し上げます。

さて、45周年を迎えるにあたり弊社では期成会を立ち上げ、下記の内容を取組みました。

- ① 永年勤続者・模範社員の表彰
- ② 名刺・ステッカー等の作成
- ③ 社内壁紙・畳の張替え
- ④ ユニホームの新調



◀新制服  
左：作業・乗務員用制服（紺色）  
中央：事務職（グレー）  
右：作業着（黒色/ボロシャツ）

### ⑤ 社会貢献活動（浦添市社会福祉協議会へ寄贈）

浦添市社会福祉協議会が取組んでいるフードドライブ『お福分けプロジェクト』に、イオン琉球(株)様ご協力のもと、イオンPB商品の12品目

【453ケースの9,142個】を選び届ける事にしました。11月2日には寄贈式典があり、浦添市社会福祉協議会会长久貝宮一様と浦添市内子ども食堂実施団体代表（とまとクラブ代表）新城洋子様よりおことばを頂き、大成功で閉会致しました。



### 永年勤続者・模範社員表彰（永年勤続30年3名・10年13名/模範社員13名）

勤続年数	受賞者一覧
30年	大城武信・荷川取葉子・金城明夫
10年	伊佐 学・知念裕太・亀谷克彦・島袋正哲・金城勝二・狩俣恵昌・宮城雅俊 金城暁由・親富祖政人・高安雄己・上原直也・高江洲圭吾・山里哲矢
模範社員	新里美奈子・久貝あづさ・古川絵理・神元繁邦・友利律子・大城民子・伊佐 学 宮平智宏・金城一樹・我那覇 仁・與那覇 陸・前田 寛・島袋竹美



着々と工事が進んでいます



RKK博多港綜合物流センター建設予定地と香椎埠頭

二〇二一年度の完成を予定しているRKK博多港綜合物流センターの建造工事の様子を、上空からウォッチしてみた！十月時点の段階で、基礎部分の工事は完了し、鉄骨が建て

られています。上空からの写真だと、香椎埠頭との位置関係もよくわかりますね。引き続き工事の進捗状況をお伝えしていきますので、お楽しみに！

十月十三日（金）琉球大学にて、琉球海運株宮城常務による講義が行われました。今回は、国際地域創造学部の講義「物流サービス論」の第四回講義として、当日はリモートにて行われました。沖縄航路運賃同盟やカボタージュ制度といった沖縄の海運業を取り巻く環境に触れつつ、台風時の対応や船舶の避難場所、物流協同化の事例紹介など、海運業に関わる様々なトピックを題材に講義が進められました。学生とのディスカッションの場では多くの質問や意見があり、聴講した若手社員も沖縄の物流について理解を深める貴重な機会になりました。また、これを機に物流や海運業に興味を持つてくれる学生が増えてくれると嬉しいです。

講義をしてくださいました宮城常務、ありがとうございました。



リモート講義の様子



知念教授、学生の方々を交えたディスカッションが行われました

## 不定期船コーナー 「大峰山丸」中城肥料揚

不定期船では県内からの葉たばこや分蜜糖を出荷しておりますが、県外から沖縄県内の農作物を育てるための肥料も輸送しています。今回、大峰山丸は九州にて肥料を積み込み、沖縄本島と石垣島にて揚げきました。積み込みから揚げ切りまで1週間程度、船長は責任を持って慎重に県内まで肥料を回漕しております。今回は沖縄本島と石垣島への配船となりましたが、オーダーに応じ南北大東島や多良間島へ回漕することもあり、一見簡単に航海、接岸しているように思えますが、乗組員はかなり神経と体力をすり減らしながらも、夢とくらしと文化をはこぶことに使命感を持って航海しています。(詳細は大峰山丸の船長まで)。



今回取材させて頂いた「大峰山丸」常定船長



荷役作業の様子



船倉内は思った以上に深さがあります…！



## 八重山港運(株)

## 八重山港運特殊輸送部 登山課

そう、あれは去った8月のことでした。営業部 山口部長から「日曜日に登山でもしない？」と誘われたので、面白そだなあと思いつかして参りました。しかし詳細は、於茂登岳山頂の気象台施設まで、燃料を人力で輸送するという作業でした。通常ならヘリで輸送を行うのですが、先方がヘリの手配が出来ずに弊社へ依頼があり志を募っていたとの事。

そこで村山安全衛生室室長を筆頭に八重山港運 特殊輸送部 登山課(仮)を15名ほどで結成し、1人20kgずつの燃料を担ぎ、於茂登岳を登り始めました。それほど高い山ではないので(それでも県内最高峰)気軽に登れる山なのですが、背負っている荷物が重く、また日頃の運動不足もあり一部脱落者が出来ました、が怪我なく山頂へたどり着き、無事施設へ燃料を給油し作業を完了させることができました。

山頂は気持ちいい風が吹き眺めも良かったのですが、下山もこれからという事もあり、疲れ果てていて山頂からの眺望を撮るのを忘れてしまっていた事がとても残念です。



十月十五日、二十九日に牛馬用コンテナ二十本の清掃を行いました。

今回清掃したコンテナは長期間放置され、状態が非常に悪かつたため、那覇で清掃作業し、清掃作業では沖縄港運㈱様、(有)コンテナ販売沖縄様に協力していただき、コンテナ内の糞の除去、錆落としを行いました。



金槌で錆落としを行う様子



ハイスピードで清掃業務が進められました



悪天候の中、業務おつかれさまでした！

## 牛コン清掃

清掃後は、鉄スクラップとして処理しました。

営業部 吉山

## 創立70周年記念ソング『船よ疾走れ！』お披露目会

11月3日（金）琉球海運本社にて、創立70周年記念ソング『船よ疾走れ！』の新曲お披露目会が開催されました。当日は、作詞の平田大一氏、作曲のイクマあきら氏が来社され新曲発表並びにマスターCDの手交式が行われました。70周年記念ソング『船よ疾走れ！』は琉球海運公式ホームページにて近日公開予定です。



CD手交式の様子



平田大一氏、宮城社長、イクマあきら氏

### はし 船よ疾走れ！—The HORIZON のテーマー

作詞：平田大一・イクマあきら 作曲：イクマあきら

空と海と風に抱かれ 人は海原に漕ぎ出す  
遠く遠く昇る朝陽に迎りingると夢見て  
人と人は心でつながり 潮の道はこの世界をつなぐ  
風の声と波を頼りにまだ見ぬ君に会いに行こう  
どんなときも明日を信じて波の飛沫を乗り越えてゆこう  
風をつかめ！船よ疾走れ！果てしない夢をのせて  
  
変わらぬ日々の暮らしの中で見上げてる夜空の輝き  
風の声と北極星を頼りに僕らの航路は続くよ  
そう誰もが旅の途中さ胸に描いた地図を広げて  
風をつかめ！船よ疾走れ！終わらない夢をのせて

琉球海運公式ホームページにて近日公開予定！



## あやはし進水式に向けて

現在、竣工中の新造船「あやはし」ですが、来るる11月17日に進水式が行われる予定です。それに先立ち、過去の弊社船舶の進水式を一部掲載します。

「あやはし」進水式は次号にて紹介予定ですので、どうぞご期待ください!!



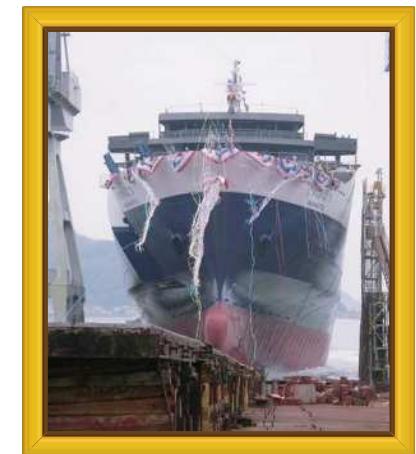
### みやらび 1994年

当社初のRORO型貨物船



### しゅれいⅡ 2017年

総トン数・全長ともに  
沖縄航路最大級のRORO船



### わかなつ 2006年

「シップ・オブ・ザ・イヤー2006」  
最優秀賞受賞

## 赴任レポート



大阪支店

## 大阪支店 大城 盛太

令和二年四月一日付で沖縄荷役サービス㈱から琉球海運㈱大阪支店に向しました、大城盛太です。大阪支店に赴任して早7カ月が経ちましたが、コロナウイルスの影響で、どこにも遊びに行けない状況が続いています。ただ、この状況をプラスに考え、仕事に集中できるいい機会だと感じております。プライベートなことですが七月十二日に第一子が生まれました。単身赴任で寂しいですが、大阪支店のメンバーに支えられ日々楽しく過ごすことが出来ております。

一日でも早く琉球海運グループに貢献できるよう努めて参りますのでご指導ご鞭撻の程、宜しくお願い致します。

## うむいの燈プロジェクト& 首里城祭



夜市に掲げられたランタン



首里城プロジェクションマッピング(観音門)



国王・王妃出御

10月下旬から11月中旬まで、県内企業各社の共催による「首里城 うむいの燈プロジェクト」が、「シンボルの復興を願う気持ちを、沖縄の元気に変えていく」という主旨のもと行われました。那覇中心部と首里城において、「首里城 うむいの燈ランタン夜市」など首里城再建を願う3つのイベントが実施されました。当プロジェクトには弊社も参画企業として加わりました。

また、10月31日から11月3日にかけては首里城祭が開催され、各イベントが首里城公園内で行われました。その様子を少しだけ写真で紹介させて頂きます。

## COLUMN 秋の夜長に…

「みなさま、いかがお過ごですか?」

真夜中に心と目が覚め、窓があまりにも明るいのでカーテンを開けて空を見上げると、そこにはこんとした真ん丸な月、いつの間にか季節は移ろい…十五夜なのですね。

コロナ禍やこれでもかと続く天災…激変の時代に私たちは「新しい習慣」をもって対応を迫られていますが、出口の見えない閉塞感に苦しんでいる人は多いでしょうね。

私も暫くどんよりしていましたが、考えてみると幾多の天変地異は地球誕生以来繰り返されている現象だし、ヒトもまた歴史上様々な危機を乗り越えてきました。ネガティブな情報に取り込まれることなく「健全な危機感」をもって自分にできる対応策を講じていきたいですね。

で、「思考の転換」ですが、一番手っ取り早いのが「身体感覚を取り戻すこと」らしいですね。

全てはただそこに在り、私達の脳内解釈で如何様にも有りようを変えるだけ。心身のコンディションでフォーカスする情報の内容が変わってくるのは、誰しも経験済ですね。このところウォーキングの習慣がついてきてまして、少しでもうつうつとしてきたら、好きなアーティストの音楽を聴きながら海岸沿いをひと歩き。頭でっかちのバランスが整い、身体も適度に疲れて緩みます。

それにも関わらず問題解決のヒント・知見は先人たちが本やウェブ上に膨大な量示してくれていて、求めればそこに在る。ほんと有難い時代ですね。今、我が家家のテレビは専らYouTubeやプライムビデオを観る為で、アレクサやサラウンドスピーカーに繋ぎ、快適オーディオライフを堪能中。

そんな中…、出会ってしまいました～。先月22日の報道ステーションにも取り上げられた「藤井 風」君！若干22歳で、カバー演奏のクオリティの高さが反響を呼び、徐々に知名度を上げていったのですが、初めてその動画（12歳からある！）を見たとき、その天才っぷりと、ただただ音楽を楽しむ邪気のない笑顔にロックオンされ、夜な夜な藤井風に吹かれることになります。すごいヒトを見つけてしまった！と舞い上がった老若男女が大勢いて、若者の歌なんて早口言葉にしか聞こえない私も彼の曲にドはまり！ 特筆すべきはその死生観で、アラカンの私が長～いスピ系遍歴・紆余曲折を経て辿り着いたそれを、音楽で伝えてくれてるではないですか～！！ かつて大江健三郎の著書で障害のある息子、光さんが、バッハのレクイエムを聴いて涙する場面があって、その感受性、音楽を通して作曲家と繋がれる才能にとても憧れたものですが、もしかしたら誰でもアーティストが紡ぎだす「作品」を通してクリエイターと共に鳴しあう瞬間があり、今、私たちに必要なのはそんな「心を震わせる体験」を通して人生の素晴らしいことかもしれません。

困難な時代、地に足をつけるべく、まずは『私たちは地球の恵みを受け、大いなる循環のなかに生きている存在である』ことを思い出したい。そう、全ては流れゆくものであり物事はバランスしている。まだ来ぬ未来を憂え過ぎし日の後悔に囚われていると、身体感覚が疎かになって「今ここ」を生きることが難しくなるのだそうです。五感をフルに用い、身体の声をちゃんと聞いて労わってあげることで、今を生きることができるような気がします。ここは沖縄、砂浜でアーシングしたり、自然の中に身を置くことも有効です。緊張でガチガチの身体に気づいてあげて、暖めてゆるめてあげる。そこで始めて余裕ができ、出会いがあり、助け合い思いやができるようになるんですね。

困難な時代を乗り越えるキーワードは共感と思いやり・想像力でしょうか…。

R2/10/2 続きようはい 久場

## 出向レポート



沖縄県出向 玉城 充貴

ハイサイ、グスーキュウガナビラ。（←玉城デニー知事がよく使うので）4月1日付で琉球海運から沖縄県に出向しております玉城です。

船会社で勤めていた環境から行政の仕事に身を置くこととなり、戸惑いを隠しながら日々を過ごしております。残念なことに新型コロナの影響で、これからお世話になる方々との懇親会がほぼ皆無の中、新天地でのスタートとなりました。

今回、私が配属されたのは、農林水産部の流通・加工推進課です。課の業務としては、農林水産物の流通、販路拡大に関する事、中央卸売市場及び地方卸売市場に

関すること、食品表示に関する事、食品リサイクルに関する事などです。その中で私が担当を任せられたのは、地方卸売市場、食品リサイクル、農林水産物の流通に関する業務です。これまでに、卸売市場法改正に伴う地方卸売市場の認定や新型コロナによる航空便減便で影響が出た県外出荷対策を行いました。また、県議会の開会中には、議員からの質問に対して答弁作成も行いました。会期中は、課内に設置されているテレビで議会中継を流すのですが、私の席がテレビの近くにあるため、議員の皆様の熱が入ると、音量の都合上、仕事に集中できないこともあります（泣）

現在は、首都圏市場における県産マンゴーの品質評価向上に向けた事業や、県産農林水産物の県外出荷における船舶輸送の拡大に向けた取組を主に行っております。

沖縄県は島嶼県である為、本土と比べ、首都圏などの大消費地まで地理的な不利性を抱えており、輸送コストや鮮度保持が課題となっております。その課題解決に向け出向期間中に少しでも力になれるよう取り組んで参ります。

### 太田市場向けマンゴー船舶輸送品質調査の様子



行政の視点から映る沖縄を体感し、その経験を琉球海運グループのために活かせるよう、出向期間を充実させていきたいと思います。

出向中も物流に関連した仕事が多々ありますので、引き続き琉球海運グループ皆様のお力添えよろしくお願い致します。



## 出向レポート



琉球ロジスティクス株式会社  
執行役員 大濱 一

4月に琉球ロジスティクスへ出向し、今までの状況をご報告したいと思います。

当物流センターには、少なからず思い入れがあり、10月7日のお披露目会において沖縄タイムスの記事では小職が小さく写っていた事と、2月にスタートしたA社商品の仕分け・配送業務の開始時に、琉球海運ならびにグループ各社からの応援要員として夜中まで作業に従事した思い出があります。

4月に着任後早々に行ったのは、グループ各社へのご挨拶廻りと2月の応援のお礼でした。前述にありますように、小職も応援要員として参加していた中で、

グループ各社の役員様に謝意を述べるには少し違和感を感じました（笑）

その様な中で、6月下旬からB社商品の仕分け・配送業務が始まり、A社作業の二の舞にならない様に、作業員の事前研修ならびに相当数の会議を行い、万全な受け入れ体制を取っておりましたが、現実は非常に厳しく、再度、琉球海運と一部グループ会社様に応援要請を行う結果になりました。移管準備に対して相当な費用と時間をかけ、皆、業務内容の理解はしていますが、経験値の無さが大混乱を招き、例えるなら、頭では理解しているが、手足が思うように動かないというもどかしさでもありました。

現在は、職員の経験値も上がり、大部分をマンパワーで業務を行っていた部分を、適正人員での配置を検討するなど、少しづつではありますが、業務・管理面を含め見直しができる状況になりつつあります。また6月から永山社長をお迎えすることで、より一層の琉球ロジスティクスの成長が期待されております。

最後に、コロナ禍で人との接触を制限されていますので、個人でのドライブ等で勝連城址にお越しいただければ、眼下に広がる琉球海運発祥の地である勝連村浜屋、琉球ロジスティクス、並びに沖縄港運中部営業所を眺めると、琉球グループの躍進を感じる事ができます！！



国土地理院地図を基に作成



勝連城址より臨む勝連村浜屋、RKL センター

# AFTERNOON TEA TIME

## 「私のペット紹介」

どうもこんにちは、沖縄港運株の島袋です。皆さんにもペットを飼っている方も多いと思いますが、今回の記事では私のペットを紹介したいと思います。

私の家では5匹の猫が一緒に暮らしております。今回紹介するのは一番の先輩猫であるドラです。ドラは私が高校三年生の時、雨の日に家の下の道路で泣いているのを私の家族が見つけて保護したのがきっかけでした。

保護した時は産まれたばかりで、まだ目も閉じており一日中雨に濡れていたようでとても弱っている状態でした。

その日の夜から緊急で動物病院に連れていきましたが、獣医からは回復は難しい、もって二日でしょうと言われました。

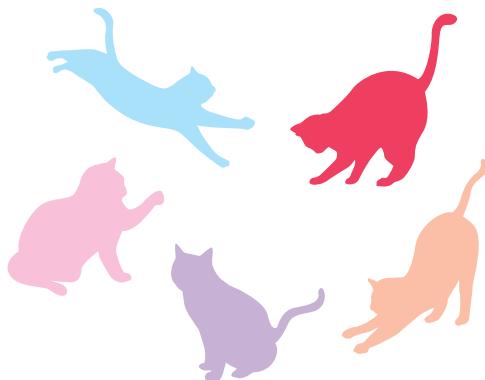
それまで私の家ではペットを飼っていたことがなく、私は動物と触れ合う事はありませんでした。

ですが、産まれたばかりで手のひらよりも小さい子猫が一日中雨の中泣き続け、今その瞬間も生きようと頑張っている姿に自然と涙が私の頬をつたったのを今でも覚えています。

そんな私たちの思いが通じたのか、ドラは獣医の診断を無視するかのように驚異的な回復をみせ、一週間後には家の中を元気に走り回るほどっていました。

そんなドラも今ではすっかり先輩猫になり後輩猫にも優しい立派なお兄ちゃんになっています。

ドラには可愛い癖があります。どこの家庭も同じだと思いますが、私の家庭は家族それぞれ忙しいので全員が揃って食卓を囲むのは夕飯時のみになります。日中はキッチンに猫たちのご飯を置いてそれぞれ食べているのですが、家族が揃う夕飯時のみは、母の「ご飯取りに来て～」の声に私たち兄弟の後に並び、自分の皿を私たちがご飯を



食べるテーブルの上まで持っていくないとご飯を食べないというとても可愛い癖があるのです。

五年間一緒に過ごして、彼のおかげで成長できた部分も沢山あり、これからも一緒に大切な時間を過ごして共に成長していきたいと思います。

これからも宜しくな、ドラ。兄 光大より。



寝ているチビ・コタロウ・ムギ・コッコ



寝ているドラ

## RYUKAI SPORTS ゆがふ製糖(株)さんとの懇親野球

11月13日(土)に沖縄セルラースタジアム那覇で、ゆがふ製糖(株)さんとの懇親野球試合が行われました。

当日は午前中まで雨が降っており、試合中止も考えられる天候でしたが選手の試合をしたいという思いが伝わったのか、夕方は雨もやみスムーズにゲームを行うことができました。

マリンガイズ (RKKチーム名)監督比嘉常務が球審の下、先攻：ゆがふ製糖(株)様、後攻：マリンガイズでプレイボール！！初回にいきなりの連打でゆがふ製糖さんが3点をリード！しかしマリンガイズも長打は無いがコツコツした粘りの野球で5回（最終回）を終え5-5の同点となりました。延長6回は2アウト満塁からのタイプレーキ制となりマリンガイズはクローザーに営業部H次長を投入。しかし、ゆがふ製糖さんの強打の前に3点を失い、8-5でゆがふ製糖(株)さんの勝利となりました。

試合後には、両チーム健闘をたたえ合い記念撮影！ゆがふ製糖様、お忙しいところ本当にありがとうございました。次回は、製糖シーズン明け頃にリベンジマッチをよろしくお願いします！



# 郷愁

## Beautiful Winchester in where I spent my youth

生まれ故郷である神奈川県の海老名市について書こうかと思いましたが、思い浮かぶのは日本で一番大きいサービスエリアとそこの人気商品「メロンパン」しかなく、あまりエキサイティングではないので代わりに数十年前、私が青春の1ページを過ごしたイギリスのハンプシャー州に位置するウインチスターという町をご紹介したいと思います。

Londonから南へ、時刻表なんてあってないようなBritish Railに揺られて小一時間、お隣にタイタニック号が出航したことで有名なSouthamptonという比較的大きな都会を眺め、Winchesterはこじんまりと存在しています。

皆さんのがイギリスの田舎の風景を想像される時に、自然と頭に浮かんでしまうような典型的な町並みが、何百年と変わらずそこにはあります。

まるで自分が中世にの町に迷い込んでしまったかのようなHarry Potterの世界そのままで。

町の中心に11世紀に建造されたイギリスを代表するWinchester Cathedralという大聖堂を配し、その周りに大学や1382年創立イギリス屈指の男子校、Winchester Collegeなど伝統と歴史を重んじる文化施設が点在します。

イギリスは曇りや雨の日が多く、夏でもカラッと晴れた日は2週間くらいしかないので、そんな日は貧乏学生達が大聖堂の広場でここぞとばかりにゴロゴロと日光浴をしていたことを覚えています。



営業部外航課  
二木 塔子

雨や雪が降る中の大聖堂もそれはそれは重厚な雰囲気を醸し出し、そこに眠る有名な死者達のそれぞれの時代に自然と思いを馳せてしまうような本物が持つ迫力に満ちていました。

ヨーロッパでは建造物が築100年くらいではまだ新築で、大した価値もありがたみもないとされますので、あの町はきっと今も私がいた当時とほとんど変らず、登場人物だけを日々替えてゆっくりのんびり時を刻んでいます。

コロナ過で自分の本当に会いたい人、やりたいこと、行きたい場所などじっくり考えた方も多かったかと思います。

私はいわば今の自分の原点であるこの町を思い出しました。いつかは分りませんが、この町を再訪しあの頃の自分のような学生と町中に存在するバブで出会ったら、是非ビールをご馳走したいと思っています。



Hambleton Vineyard



Winchester Cathedral

画像出典元

<https://www.visitwinchester.co.uk/>

<https://www.winchester-english.co.uk/winchester.php>

## 第163回 三ヶ月会コンペ開催

	グロス	ネット
優勝 狩俣 宗良 (琉球海運)	95	59
準優勝 比嘉 茂 (琉球海運)	81	63
3位 大城 幸弘 (沖縄急送)	82	67
ベスト グロス 松本 博雅 (ロジカルサポート)	73	



おめでとうございます！

九月十九日(土)、沖縄カントリークラブにおきまして、「第一六三回 三ヶ月会」が開催され、白熱した戦いが繰り広げられました。結果は左記の通りです。

三  
ケ  
月  
会

## 【写真で振り返る琉球海運 琉海マリンガイズ】



常務取締役 比嘉 茂

当時：営業部営業課



マリンガイズ 年間打率ランキング発表!!

成績	5勝6敗					首位打者 前田調、打点王は企画課・宮城誠。
	打率	四死球	本塁打	打点	今年も頑張りましょう。	
前森 正	7	1	0.143	1	0	
中山 勝	2	0	0.000	0	0	
比嘉茂	28	11	0.393	7	1	6
宮城勝	28	10	0.357	5	0	☆ 9
長嶺直	31	9	0.290	1	0	8
田里和	15	3	0.200	3	0	2
濱元朝	14	3	0.214	1	1	3
高崎裕	20	8	0.400	3	1	2
宮保徹	7	2	0.286	2	0	2
佐久川泰俊	11	2	0.182	3	0	1
小橋川健	6	3	0.500	0	0	1
大城仁	13	7	0.538	0	0	4
狩俣保	7	0	0.000	2	0	1
金城勝哉	10	3	0.300	1	0	2
金城健	21	8	0.381	4	0	2 (沖縄急送)
友寄隆太	22	7	0.318	3	0	0 (沖縄急送)
前田剛	18	10	0.556	☆ 0	1	8 (沖縄港運)
多和田勇二	24	12	0.500	3	2	7 (浜比嘉船食)

社内報 (H9.1月号/193号) より抜粋

日付、場所さえ判明しない写真だが、おそらく平成9年の秋から冬にかけての練習試合かと思われる。

琉海マリンガイズという名前こそ勇ましいが、野球部としての戦績はと言えば、素人集団により公式戦に出場するには遙かに及ばず、同レベルのお客様の職場チームと懇親会を兼ねての試合がほとんどだった。

大笑いで記憶に残る試合と言えば、総合事務局運輸部との試合で佐久川君がなんとサヨナラヒットで勝利した試合である。この試合は翌週の社内報で早速掲載され、「エース長嶺が滅多打ちされるも、佐久川のサヨナラヒットで辛くも勝利！」と社内報委員である特権的立場で報じたのである。本人の名誉のためにいうが、当時ノックをすればボールは返ってこないし、ヘタって足がつったとかそんなチームだから当たれば皆ヒットだった・・・

ちなみに長嶺君は本社営業開発部係長で佐久川君の上司でもあった。しばらく酒の席での話題に上がり、大笑いしたことを憶えている。その後チームは関連会社等から補強を行い公式戦に出場、なんと2勝を挙げた。その後の公式戦出場はあったのだろうか？不明である。

RKKマリンガイズの名前は今も脈々と受け継がれており、いつの日か朗報を期待したいものである。

### 【この年(H9)の出来事】



「にらいかない」就航 (1997~2017)

